



# がんば

島原市立第三小学校  
育友会報  
発行部  
広報部

【第97号】



夏休み間近！ぼくたち、わたしたち、がんばってるよ！

みんな元気？  
「ハアアア！」

## 一年生になって

一年P 竹下 冷子

ある塾の先生によると、どこの親でも異口同音に言うことが一つあるんだそうです。「うちの子は、アタマは悪くないんですけど……」と。

なるほど、親にしてみれば「うちの子はアタマが悪いものですから、よろしくお願いします」とは、親の心理としては言いにくいですね。

さて、我が子はどうなのでしょう。入学式には、仕事の都合がつかず主人がつれていたので、最初の授業参観に大いに期待しておりました。ところが、我が愛し娘という手をあげるところか、後ろをふりむいてニヤニヤしたり、どこで覚えたのか下敷を出してお尻でこすって静電気をおこし、髪の毛にこっつけて理科の実験をする始末。先生の話など全く聞いていない様子で、穴にも入りたくないくらいでしたが、生憎私の体形で入れそうな穴もありません。

そして、五月の運動会では、学級対抗リレーの選手に選ばれて出場したものの、見事に転倒、ひざ小僧をすりむいて名譽の負傷でした。

まあ、体格では最優秀の部類ですから、体育面で秀でてくれればという思いも、もちろんも崩れ去りました。

いずれにしても、両親とも昔神童、今ただの人ですから、子供もこんなものでしょう。

ちよつとした言葉で……

好評だった

代議員研修会

学級部長

相良 耕作



去る六月二十日、学級部主管による代議員研修会が開催されました。当日は、二中の伊東作蔵教頭先生の講演会を中心に、学年部会と地区部会が開かれ、大きな成果を上げ終了致しました。

伊東先生には、公務の多忙の中をまげて引き受けていただき、素晴らしい内容の御講演をしていただきました。参加者全員、時間のたつのも忘れ聞きほれて、女性の代議員の方々は、「伊東先生があんなに素敵な方であったなんて」とほれ直し、興奮されて居られました。

あまりにも内容がすばらしいものでしたので、文章にすると少々ニュアンスが変わる恐れがあり、伊東先生に申し訳ない事になるのですが、その一部を会員の皆様に手短かに紹介致します。もっと知りたい方は、じかに伊東先生とお話しになっていただきたいと思ひます。

講演全体は、リーダーのあり方を色々な例題、先生の体

験談を交えながら話されました。御礼の言葉の大切さを強調され、「ちよつとした言葉によって、人は感動し、勇気づけられます」としみじみ語っておられ、先生が師と仰ぐ竹下哲先生の「四季の詩」という本と「みんな一番」という本を紹介され、人は何か一つぐらい人よりすぐれたものがある。教育とはそれを見つけてやらねばならない等々話題がつきず、次回は三時間位の講演をお願いしたいものなどの余韻を残しながら、盛会の内に終了致しました。

学級部の皆様大変おつかれ様でした。

給食試食会

保健給食部副部長

永長 洋子

今年の試食会は、例年と違つたおもむきで、子供達と一緒に教室で食事をし、子供達が日頃どのようにして食べているのかを、お母さん方に見て頂こうと言う試みから実施されました。

私も一年一組に仲間入りさせて頂き、子供達も、お母さんと一緒に少し緊張きみで、口数も少なく、お行儀もとても良く、楽しい試食会でした。



親子で給食——いただいてま〜す！

後で、お母さん達に気付かれた事をアンケートにしていた所、家では好き嫌いの多い子供でも、「皆で食べるとおいしい」「家では時間がかかるのに、遅れないようにと早く食べている」などと、家庭では考えられない事が沢山見られ、「試食会に出席して本当に良かった」との意見が寄せられ、ホツとしております。又、「一年生だけでなく他の学年でも試食会をしてみたら」などと、貴重な御意見もありました。

私達も今後は、一人でも多くの御父兄が参加でき、楽しく有意義な試食会を開催できる様、精一杯努力していきたいと思つていきます。

自転車点検を終えて

交通部 副部長

大平 葉子

六月十八日、自転車点検が行われました。朝、子供達が自転車を引き連れて登校して来ます。学年別、組別に分けてラインが引いてあり、私達は子供達が間違えて置かないように気を配りました。

自転車商會の人がみえて、点検が始まり、ブレーキ、ベル等々ていねいにみて下さり、少々の故障は気持ちよく直して下さいました。

私は、子供達が一年間事故に会わないようにと願いながら、シールをはりました。



## 七 夕

### 二年一組 中島よう子

わたしは、たんざくに、「エレクトーンがじょうずになりましように。中島よう子」とかきました。

いごってかなうよねとおもいました。だって友だちもおねがいごとがかなうっていつているんだもん。ぜったいかなうよね。

ほんとにおねがいごとってかなうのかなあとおもったけど、おねが



ミスターおりひめ

### 五年二組 小島寛子

七日のよるは、天の川ができるからのしみだなあ。はやくよるになあれ。

七夕は、中国に伝わる、星空をぶ台にした美しいすてきなお話で、年に一度けん牛と織女が会える日とされています。

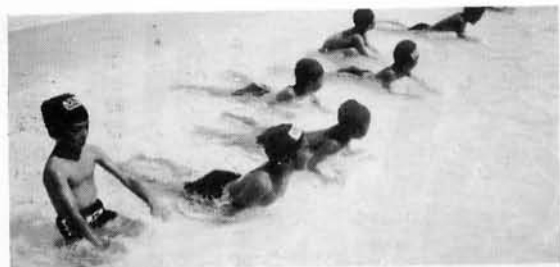
学校でも、「伝統ある七夕の行事の意味を知り、全校で楽しく祝うため」に、七夕集会が開かれます。

今年も、クイズやゲーム、歌や合奏、げき、星の説明等、色々な内容で、楽しく行われました。

七夕をかざり、夜ながめた空は暗く、天の川は見る事が出来ませんでした。今年も又、会えなかったのでしょうか。

## 楽しいプール始まりました

お父さん、お母さんがきれいにしてくださったプール、とってもきれいです。



ワニあるきだぞ!



プール清掃作業



テレフォン委員会のみんな

わたしたちの声を聞いてね!

**島 三 小**  
**テレフォンサービス**  
**☎63-0026**  
**ご利用下さい**  
 午後 5 時00分  
 ↓  
 翌朝午前 7 時30分

# 『カントクさんに聞きました!』

来たる7月24日(日)に球技大会が行われます。日頃、子供達の指導をされている監督さん全員にアンケートをしました。結果は……。

## 【質問一】

「お仕事は?」

- ・自営業 13人
- ・会社員 10人
- ・公務員 8人
- ・その他 4人

## 【質問二】

「指導して何年ですか?」

- ・一年 11人
- ・二年 8人
- ・三〜五年 9人
- ・五年以上 7人

## 【質問三】

「指導されるきっかけは?」

- ・自分から進んで 2人
- ・他にする者がいなかったから 3人
- ・代議員として引き受けざるをえなかった 28人
- ・成り行きで引き受けた 5人

## 【質問四】

「一日の練習時間は?」

- ・一時間 4人
- ・一時間半 14人
- ・二時間 17人
- ・三時間以上 0人

## 【質問五】

「練習日は週に何日?」

- ・毎日する 3人
- ・五日 6人
- ・四日 8人
- ・三日 14人
- ・二日 4人
- ・一日 0人

## 【質問八】

「一番喜びを感じる時は?」

- ・子供の元気な笑顔を見る時 5人
- ・子供たちがあいさつをしてくれる 7人
- ・子供の成長・上達 9人
- ・指導した事を真剣に守ってくれた時 3人
- ・子供同志に連帯感ができた時 3人
- ・試合に勝った時 4人
- ・子供・親から感謝される時 3人
- ・一日の練習を無事に終えた時 1人

## 【質問六】

「子供が練習を休む理由は?」

- ・塾に行くから 26人
- ・遊んでこない 5人
- ・その他(他のクラブの練習・病気・用事など) 4人

## 【質問七】

「指導をやめたいと思ったことは?」

- ・ある 22人
- ・ない 13人

## 【質問十】

「指導のモットーは?」

- ・勝っても負けても一生懸命
- ・子供達の自主性を大切に
- ・礼儀正しくおもいやりをもつて
- ・明るく楽しく運動する
- ・助け合いの気持ちを大切に
- ・時間を守る
- ・けがをしないようにする
- ・一人一人の個性を大切に
- ・社会のルールを教える

## 【質問九】

「自分の子供時代と比べて……」

- ・根気がない
  - ・意欲がない
  - ・文句が多い
  - ・すぐふくれる
  - ・技術はすぐれている
  - ・返事をしない
  - ・今の子は忙しすぎる
- (監督さんのこうあってほしいという願いの表れかな?)



アンケートの記入にご協力頂き、ありがとうございます。ご迷惑をいたしました。

(回答率85%)  
広報部一同





# インタビュー

交通指導員であり、米穀店を営んでいらつしやる、伊藤八郎さん(五十八才)にインタビュしてみました。

○市の交通指導員になられて何年ですか？又、毎月何日に指導されていますか？  
伊藤 十三年目です。天候にかかわらず、毎月一日と二十日に立ちます。それから、春と秋の全国交通安全運動週間の十日間と夏休みの登校日に立ちます。  
○交通安全週間の十日間は毎日たいへんですね。  
伊藤 そうです。ね、酒もオチオチ飲めないですよ。  
○十三年間、続けてこられた理由は……。  
伊藤 やめるチャンスをつかみそこなつたということでしょうね。ワツハハハ。

○何時から何時迄ですか？  
伊藤 午前七時四十分から八時十五分ぐらいまでです。  
○交通指導員をされて一番喜ぶことは……。  
伊藤 子供の事故がないことが一番うれいすね。  
○最後にこれからの交通指導員としての要望は……。  
伊藤 子供クラブの班長で、登校旗をわたくしはめたくまに持つてくる子供がいるので、登校の前にはずしてきてほしいです。今年で交通部が発足して二十一年だそうす。その当時の一年間は、毎日立たれて交通指導をされていたそうです。昭和四十六年三月十七日、我が三小の交通部は、島原警察署長より感謝状を受けられたと聞きました。  
伊藤さん、これからも交通指導員としてガンバッテ下さい。  
(担当 広報部 上田すず子)



伊藤 子供クラブの班長で、登校旗をわたくしはめたくまに持つてくる子供がいるので、登校の前にはずしてきてほしいです。今年で交通部が発足して二十一年だそうす。その当時の一年間は、毎日立たれて交通指導をされていたそうです。昭和四十六年三月十七日、我が三小の交通部は、島原警察署長より感謝状を受けられたと聞きました。

# 私の小学校時代

池田 真



明治四十五年七月三日生まれ、真実は母のへその緒には五月十八日と記してあります。大正八年四月一日、小学校に入學、島原村の根松分教場で二教室でした。大きな、色の黒いやさしい板本吉太郎先生の元に、「良く学び、良く遊び」の標語が目につきました。一年生は、八幡町の下田さんの裏の倉庫が教室でした。八幡神社に詣り、パノラマを眺きながら、三年生の時は本校へ竹馬の友、徳義勝徳君と一緒に、小さな足では小一時間かかっていました。四年生は分校、五年生は再度本校へ。びっくりしたのは留年(落第)が八名もいました。同級生で、紅顔の美少年は浜田病院の浜田正夫先生でした。  
大正十三年四月一日、三町

村合併でいよいよ第三小学校です。小国志佐人校長先生、将柑様のような受持が林田俊雄先生の男級です。勉強は、机を持ち寄って桜井寺で多勢の友達と仲良くしていました。遊びは、夏は何と言っても白土湖が天国でした。唇は真青になり、ブルブルふるえて泳いでいました。男の子はコマ廻し、ラムネン玉、馬乗り、チャンバラ、打て逃し。女兒は、ママごと、おハジキ、お手玉、隠れんぼでしょうか。ヤマコブのけんくわも面白かった。  
私達農家の子供は、家事の一役を担って育ちました。朝夕の雨戸採り、掃除、神仏様へお茶お初徳呈も日課でした。弟妹の子守り、風呂炊き、牛馬の飼料の草切り、田畑の手助けなどもしました。  
小使いは五銭、奮発したところで十銭でした。着物は母の手造りで、腰と肩にはニアゲを揚げて、のりも着けてあり、足袋も手作りでした。あれから七十年、今昔の感で一杯ですが、祖父に成ってしまいました。親子孫と三世代八名家族で楽しく暮して居ます。

♪♪こえ♪♪

一年P 岡本はるみ

小学校に対する興味と不安を持って入學し、早三ヶ月になりました。子供はもうすっかり皆と解け合って、毎日勉強とソフトの練習にと元気に過ごしております。

何もわからない私です。授業参観などを通して、学校のこと、地域のことを知り、自分の目で子供達の生活を確かめ、連絡帳での先生との会話、先輩のお母さん方と共に育友会活動にも参加させてもらって、私の不安が早く軽くなるようにがんばっている毎日です。

一年P 川副千鶴

今年四月に長男を入學させて、初めて育友会の会員になり、何もかもが目新しく、皆様について行くのがやっとなです。それに、三男の誕生と入學が重なり、毎日毎日戦争で行き届かない所が沢山あるのではと不安でした。

先日の授業参観で、のびのびとした態度に安心し、楽しいそんな授業風景に先生への感謝とこれからの六年間をこの様におおらかにのびのびと勉強、子供クラブにと励める様にお願ひしたいと思います。

# 三小 あめの町・いの町

今回(九十七号)より、シリーズとして各町内の活動ぶり、自慢話など紹介して頂くコーナーを設けました。



湊町児童 登校の様子

## チームワークは バッチリ

湊町  
江崎 なつ子

私たちの住む湊町は、五年前に川尻・南風泊・蛭子鼻の三町内が合併してできました。児童の数も年々減少し、今年世帯数三十三件、児童の数は

四十六名から成りたっています。

女子のフットベースチームは二チームできる程で、良き指導者にめぐまれ、校内球技大会では六年前から、毎年優勝してきています。

育友会の参加者も多く、親子フットベース大会には、三チーム出場したこともありま

す。男子のソフトは、ソフト好きな男の子ばかりですが、あいにく、上級生が少ない状態ですが、みんながんばっています。

町内会・婦人会は昔どおり三町内に別れていますが、育友会・子ども会のチームワークは、バッチリだと誇っています。

## 運動会

白山町  
片山 秀明

「白山町の子は速か」と印象つけたのは、春の運動会です。小さな五年の裕喜君が、ラストで大きな上級生を抜き、優勝しました。さすが白山町



三小のすぐ南側 白山町

の子です。白山町の子は、背が小さいのが多いけれど、走るのだけは速いというのが伝統で、毎年運動会は優勝です。特に可愛いかったのは、一年生でしたが、動物病院の勇人君が必至で走っていました。一方、父兄の方ですが、これまで速く、「白山町とは、一緒に走ることなかあ」と云われています。広瀬誠洋、平野義信をトップに、何んと動物病院の松本享君は、高校時代、南高の陸上で活躍した強者で、町内予選が必要な程です。でも、ちょっと寂しいのは、新入生が少なく合併問題など悩んでいます。父兄も(特に女性)子供も、

## 弁当作り

南下川尻町  
園田 敏之

口だけは達者な白山町ですが、宜敷くお願いします。



畑に囲まれた南下川尻練習場

南下川尻町は、五小校区の新湊町に隣接し、三小校区のはずれに位置している。海岸線から眉山のふもとまで細長い町である。子どもたちは、男子三十一名、女子三十一名で計六十二名の大世帯である。親は、元気があり、個性豊かな人間がそろっているのにどうした訳か、子どもは、小がらで、やや元気がないよう

である。しかし、素直で平和そのものである。本町は、ソフトボール、フットベースボールの試合の時は、必ず親は公民館に集まって、全員分の弁当作りをし、応援にかけつけている。この弁当作りが、教育談義の場となり、素直な子どもの育成へつながっているのではないだろうか。

## 松本先生 結婚おめでとう

松本伸子先生(五年三組)がご結婚され、山本伸子先生に変わられました。どうぞよろしく。

## 編集後記

車で田舎の道路を走ると、田んぼに植えられた稲の青さが目につきます。何年前か、稲作りをして早く大きく成長するようにと肥料をたくさんやりました。三日後には全部枯れてしまいました。それからというもの、子供に肥料をやりすぎないように心がけています。がんば九十七号をお届けします。御意見・御感想をお寄せ下さい。